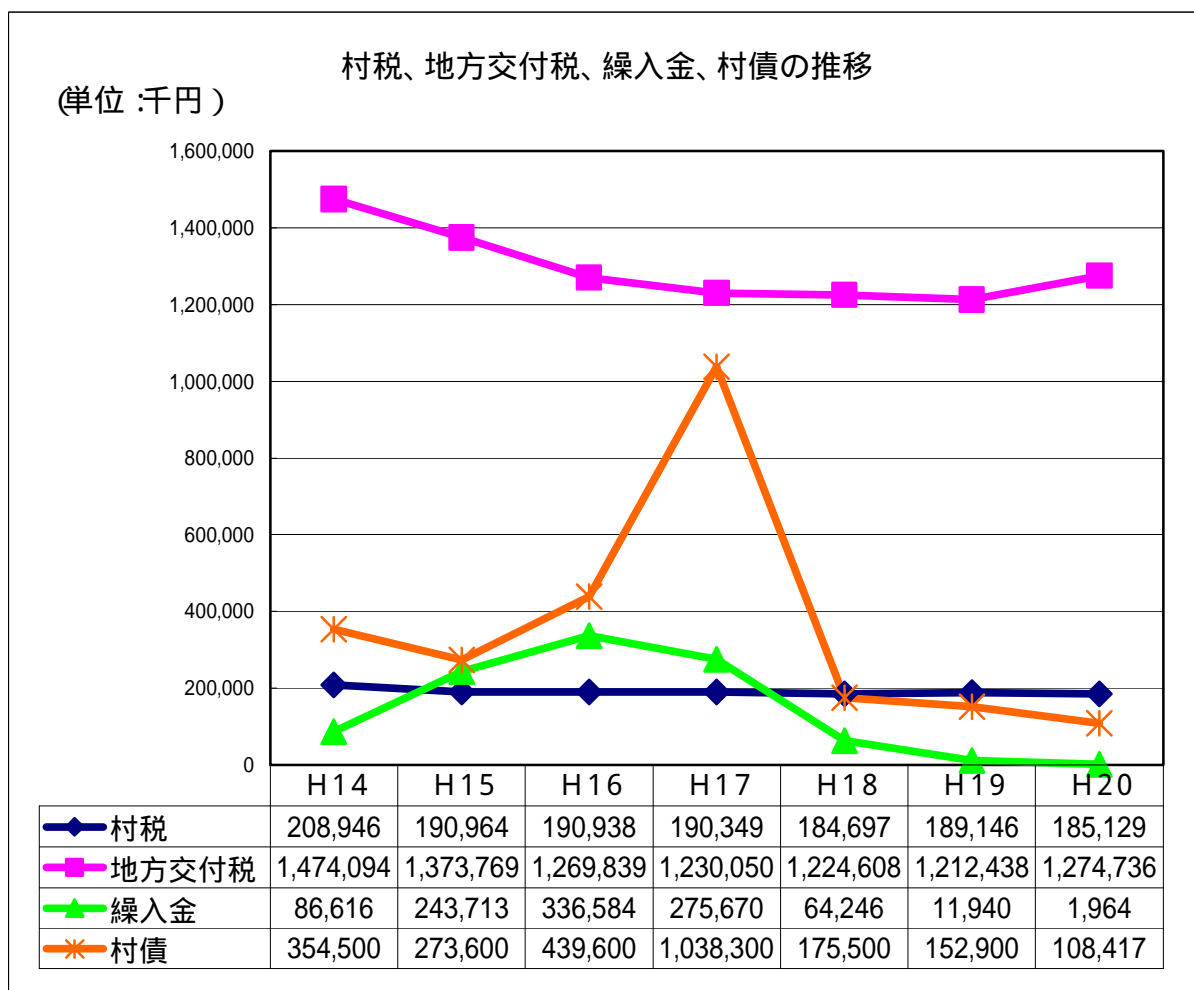


主な歳入の推移



(村税)

景気の低迷、人口の減少等により減少傾向が続いています。

(地方交付税)

国による交付税の見直しが実施された影響で、年々交付額が減少しています。
平成20年度は、地方交付税が地方再生対策費の創設等により若干増加しています。

(繰入金)

H13から大幅な歳入不足が生じ、基金繰入により、やりくりを行っている状況です。
今後も歳入不足が続くと、あと数年で基金が底をつく可能性があります。

(村債)

大規模な公共事業を実施したH16・17をピークとして建設地方債の発行は減少しています。

(その他)

国庫支出金、県支出金等も三位一体の改革(補助金の廃止、削減)に伴い減少していくと
思われます。